

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

■認証取得のきっかけ  
鮮度が自慢です。  
中心に卸しを行っています。  
養殖と加工を元的に行えるので、  
鮮度が自慢です。

## ■業務内容

かきの養殖とむき身  
衛生管理には気をつけましたが、この  
方法で間違いないか、  
より効率的な方法や効  
果の高い取り組みはな  
いかと思っていました。

## と取り組み

自ら設定した衛生管理のポイント  
なんといっても、温  
度管理です。鮮度を保  
つて商品をお届けする  
ために、水揚げから冷  
蔵庫に入れるまでの時

## ■自ら設定した衛生管理のポイント

当社の衛生管理を説明  
しやすくなりました。  
認証取得証を提示でき  
るので、自信を持つて  
衛生管理の取り組みを  
伝えられます。社内で

安全・安心なままで  
います。  
これからも、これま  
で以上においしく、安  
全・安心なままでお届  
けしますので、ぜひご  
賞味下さい。  
（インビテー！中川／  
記事・馬場田）

## 鮮度の良さを自慢に

## 衛生管理のポイントは温度管理



## (7) 矢野水産株式会社



認証日: 平成30年1月31日  
所在地: 東広島市安芸津町  
風早653-145(大芝島工場)  
創業: 昭和33年10月  
話し手: 代表取締役  
矢野 勝利 様

その時に第三者機関から、取り組みを担保してもらえる県の制度を知り、自信と裏づけを持って衛生管理を行っているとPRできるよう挑戦しました。

## ■認証取得の成果

間管理や洗浄槽の水温、冷蔵庫の温度などを定め、マニュアルにまとめて管理、記録しています。

お客様に対しては、

「旨いかきは、良い海から」という思いで自信を持つてかきを育て、鮮度を落とさないよう自信を持つて加工をしています。

これからも、これまで以上においしく、安全・安心なままでお届けしますので、ぜひご賞味下さい。（インビテー！中川／記事・馬場田）

環境保健協会創立60周年を記念する感謝事業で、各市町公衛協が実践活動で使う備品を寄贈しました。

寄贈した備品は、テントや看板、カメラ、蜂の防護服、健康運動器具など多岐にわたり、それぞれの公衛協で展開されている実践活動にお役立ていただいている。今回は2つの活用事例を報告いたします。

## 【坂町公衛協 看板作成】

坂町公衛協には、リサイクルにかかる看板を作成して届きました。

看板は910mm×1820mmの大きなもので、公衛協が取り組むリサイクル推進事業への理解と参加を促すことをねらいに、イベントの際に利用する食品容器のリサイクルに協力を求める内容になっています。

3月25日に第7回坂町悠々健康ウォーキングが開催



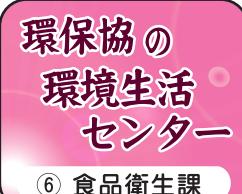
## (8) 寄贈品の活用状況

## 実践活動に役立つ備品を寄贈

## 坂町公衛協・江田島市公衛協



大きな看板を設置しリサイクルを呼びかける（左）  
ウインチでごみを引き上げて回収する（右）



## (6) 食品衛生課

みなさんはクリプトスボリジウムと呼ばれる微生物をご存知でしょうか。クリプトスボリジウムは、水を介してヒトや動物に感染し、

下痢などを引き起こす5ミクロン程度の微生物です。当協会では、県内の水道水、水道水のもとなる河川水や井戸水などを対象にクリプトスボリジウムの検査を行っています。

クリプトスボリジウムの検査は、10倍と比較的多量の水の中からつの粒子を見つけ出す検査です。そのため

## クリプトスボリジウム検査実務者研修会を開催

担当技術者のレベルアップを目的として、クリプトスボリジウム検査指導機関の認定を受けています。研修会を開催しています。

平成29年度は、3月2日から3日間、実際に検査に携わっている方々を対象に開催しました。本研修会は、水道水質検査機関が会員団体である（社）全国給水衛生検査協会の主催で、当協会は平成

23年度からクリプトスボリジウム検査指導機関の認定を受けています。研修会では、国立感染症研究所の遠藤卓郎名誉所員より、水を介した感染症の概要や

クリプトスボリジウムの検査方法などについて講演をいただきました。また、受講者は、実技の中で、日頃の操作における問題点を洗い出し、各工程のポイントについて学んでいた

さらに、今回の研修会では、県立広島大学の学生がインターンシップとして参加しました。

研修会を通じて、専門知識だけではなく、学校では学ぶことのできない検査現場で働くイメージが持ったのでは

当協会ではこれからも水の安全を守るために、検査を通じて社会貢献できるよう取り組んで参ります。（食品衛生課）

